

2004年4月7日

< 中国主要8都市20代・30代の生活者の価値観と消費調査 >

博報堂グローバルH A B I T 2003 より

今を楽しむより将来を考える中国生活者

「高品質」は日本製品 「カッコイイ」は韓国製品。

博報堂では、グローバル市場でのマーケティング・コミュニケーション戦略に活用するための生活者調査『グローバルH A B I T』を2000年から毎年行っており、2003年度は、中国での調査地区を8都市に増やし、アジア・ヨーロッパ・アメリカ・日本の合計25都市で調査を実施しました。

これら調査の中から、今年度調査対象を拡大致しました中国8都市の20代・30代の生活者に関する分析結果をご紹介します。

2002年度までの『グローバルH A B I T』では上海・北京・広州の3都市のみを対象としてきましたが、中国進出企業の関心の高まりと、さらに細かな主要都市の生活者分析に対応すべく、今年度から新たに大連・瀋陽・武漢・成都・福州の5都市を追加致しました。これにより中国全体としての傾向に加えて、都市ごとに固有の特徴も見るできるようになりました。

このたびまとめた、中国8都市の分析結果では、中国の20代・30代の消費に関する意識と共に、8都市の価値観や人生観の違いなどを明らかに致しております。

今回ご紹介している結果のポイントは以下の通りです。



< 結果のポイント >

男性も女性も、「仕事と家庭の両方を大切する人」が理想像。

都市別では、最も「家族志向」が高いのは瀋陽。最も「独立志向」が強いのは北京。「仕事と家庭」の両立を挙げたのが武漢と福州。

「今を楽しむ」より「将来を考える」堅実派が主流。

中国の人にとって理想の年の重ね方とは、「若々しい体と思慮深い精神」。

新製品への反応が高い広州・武漢・北京・上海。価格にはシビアな北京。

北京・広州・上海の3大都市は環境問題への関心が低い。武漢・福州は環境問題に関心が大。

カラーTV・洗濯機・固定電話は保有率が9割以上、ケーブルTV・携帯電話の保有率も8割以上。

これから1年以内に購入したい耐久財のトップは携帯電話で、バイクとパソコンが続く。

日本製品は「高品質」イメージはトップだが、「カッコイイ」では韓国製品を下回り、「活気」「時代を切り開く」では韓国・中国製品を下回る。

5割近くが一年以内に旅行経験あり。ただし、ほとんどが国内旅行。行きたい渡航先は国内が5割以上、日本も3割弱。

< 博報堂 Global H A B I T 2003 調査概要 >

調査都市：中国(上海/北京/広州/大連/瀋陽/武漢/成都/福州)・香港・台湾(台北)・タイ(バンコク)・韓国(ソウル)・シンガポール・マレーシア(クアラルンプール)・フィリピン(メトロマニラ)・インドネシア(ジャカルタ)・ベトナム(ホーチミンシティ)・インド(デリー/ムンバイ)・米国(ニューヨーク)・イギリス(ロンドン)・フランス(パリ)・ドイツ(フランクフルト)・日本(東京/大阪)

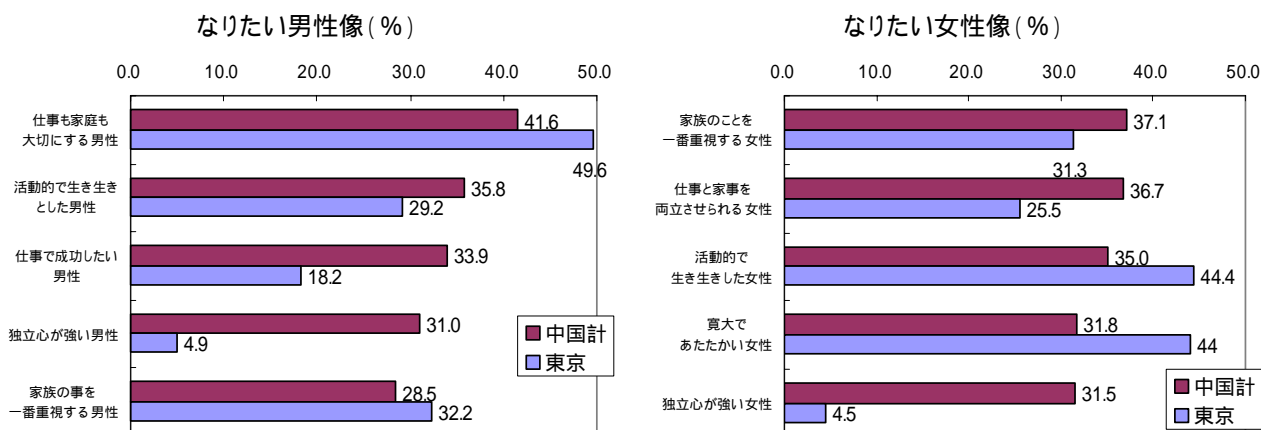
調査対象：15～54才の男女で、各都市500～800名、日本は東京・大阪合わせて5,000名、合計 20,634名

調査方法：訪問面接(アジア) 訪問面接・留置(欧州) 郵送(米国) 訪問面接・郵送(日本)

<分析結果>

男性も女性も、「仕事と家庭の両方を大切する人」が理想像。ただし、成功欲・独立心も強い。

男女それぞれの「なりたい理想像」を聞いてみると、中国のベスト5は以下の通りでした。参考に東京のデータと比べてみると、男性にとっての「なりたい男性像」トップは東京と同じ「仕事も家庭も大切にする男性」でしたが、「仕事で成功」「独立心が強い」といった項目では大きな差が出ました。女性の場合は、「家族のことを一番重視する女性」と「仕事と家庭を両立させられる女性」で、東京の個人志向に比べれば、中国のほうが家族志向が強いと言えますが、「独立心が強い」が5位に入り、男性と同様、東京とは際立った違いを見せています。



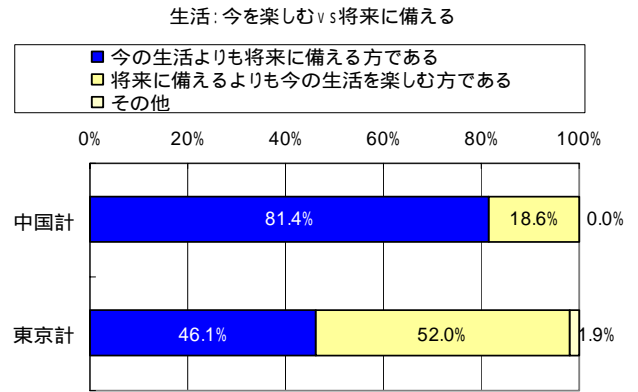
都市別で最も「家族志向」が高いのは瀋陽。最も「独立志向」が強いのは北京。「仕事と家庭」の両立を挙げたのが武漢と福州。

- ・東京よりも家族志向の強い中国ですが、都市によって違いが見られました。
- ・男女ともに、「仕事と家庭の両立」を第一にあげたのは武漢と福州、「家族が一番」を選んだのは瀋陽。
- ・成都と大連では、男性は「仕事も家庭も大切に」がトップで、女性は「寛大であたたかく」「家族が一番」が選ばれています。
- ・上海では、女性が「家族が一番」であるのに対して、男性は「活動的で生き生き」がトップ。
- ・北京では男女とも「独立心が強いこと」が1位で、「家族・家庭」を上回っています。
- ・広州では、女性は「活動的で生き生き」、男性は「仕事で成功」が高くなっています。

	なりたい女性・NO.1	なりたい男性・NO.1
上海	家族のことを一番重視する女性	活動的で生き生きした男性
北京	独立心が強い女性	独立心が強い男性
広州	活動的で生き生きした女性	仕事で成功したい男性
成都	寛大であたたかい女性	仕事も家庭も大切にする男性
大連	家族のことを一番重視する女性	仕事も家庭も大切にする男性
福州	仕事と家事を両立させられる女性	仕事も家庭も大切にする男性
瀋陽	家族のことを一番重視する女性	家族のことを一番重視する男性
武漢	仕事と家事を両立させられる女性	仕事も家庭も大切にする男性

「今を楽しむ」より「将来を考える」堅実派が主流。

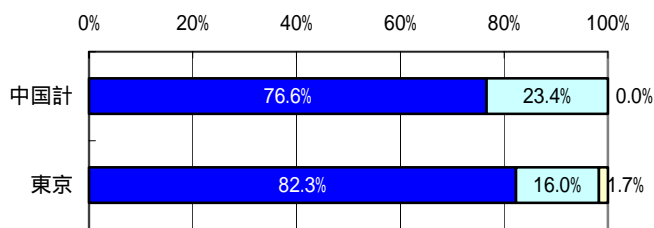
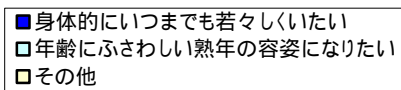
財産についての考え方も、東京との違いが見られます。東京では「将来に備える」よりも「今の生活を楽しむ」人のほうが上回っていますが、中国では、「今の生活を楽しむ」よりも、「将来に備える」と考える人が大多数です。



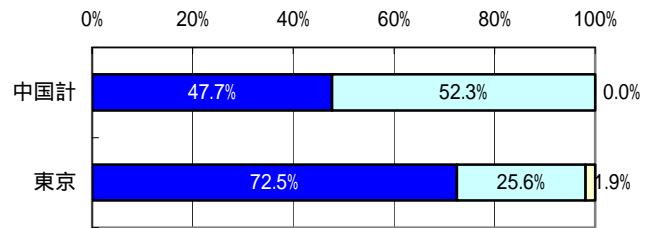
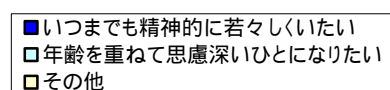
中国の人にとって理想の年の重ね方とは、「若々しい体と思慮深い精神」。

理想的なエルダー像として、「身体的に若々しく」「精神的には思慮深く」というのが中国では主流。東京の人が「身体的に」も「精神的に」も「若々しくありたい」と考えるのとは傾向が違ってきます。

身体的に若々しくvs熟年の容姿に



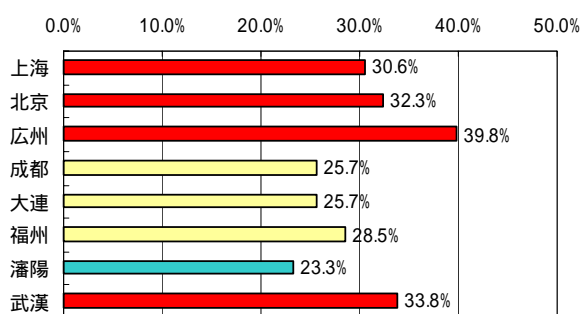
精神的に若々しくvs思慮深い人に



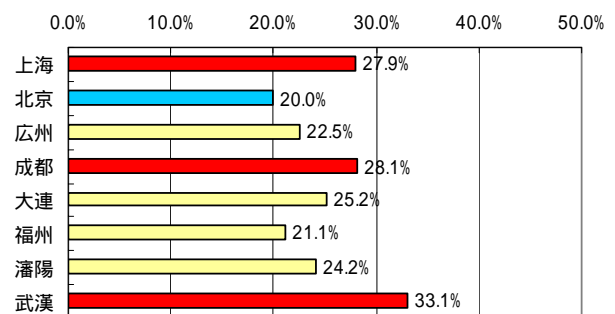
新製品への反応が高い広州・武漢・北京・上海。価格にはシビアな北京・福州・広州。

消費についての意識も、都市によって少しずつ違いが見えます。上海・武漢は新製品への反応も高く、価格に対する許容度も大きいのですが、北京・広州は新製品への反応は高いものの、価格には厳しく、シビアな消費者といえそうです。

新製品はすぐに試してみる方だ



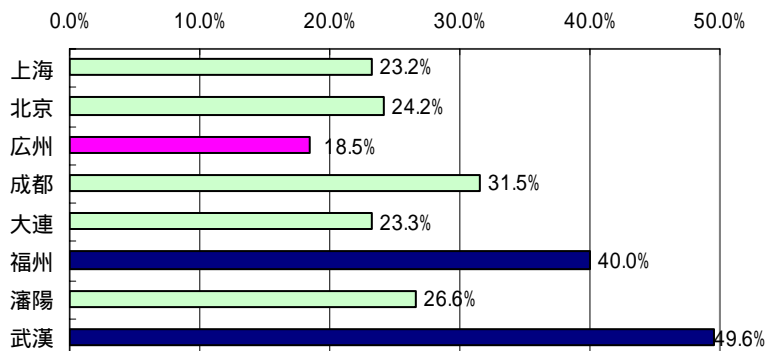
値段が高くても気に入れば買ってしまう



北京・広州・上海の3大都市は将来の環境問題への関心が低い。武漢・福州は、環境問題に関心が大きい。

北京・広州・上海の3大都市では、比較的将来の環境問題への関心が低く、特に広州は、関心が低くなっています。反対に、環境問題にも高い関心を払っているのが、武漢と福州で、広州の倍以上のスコアとなっています。

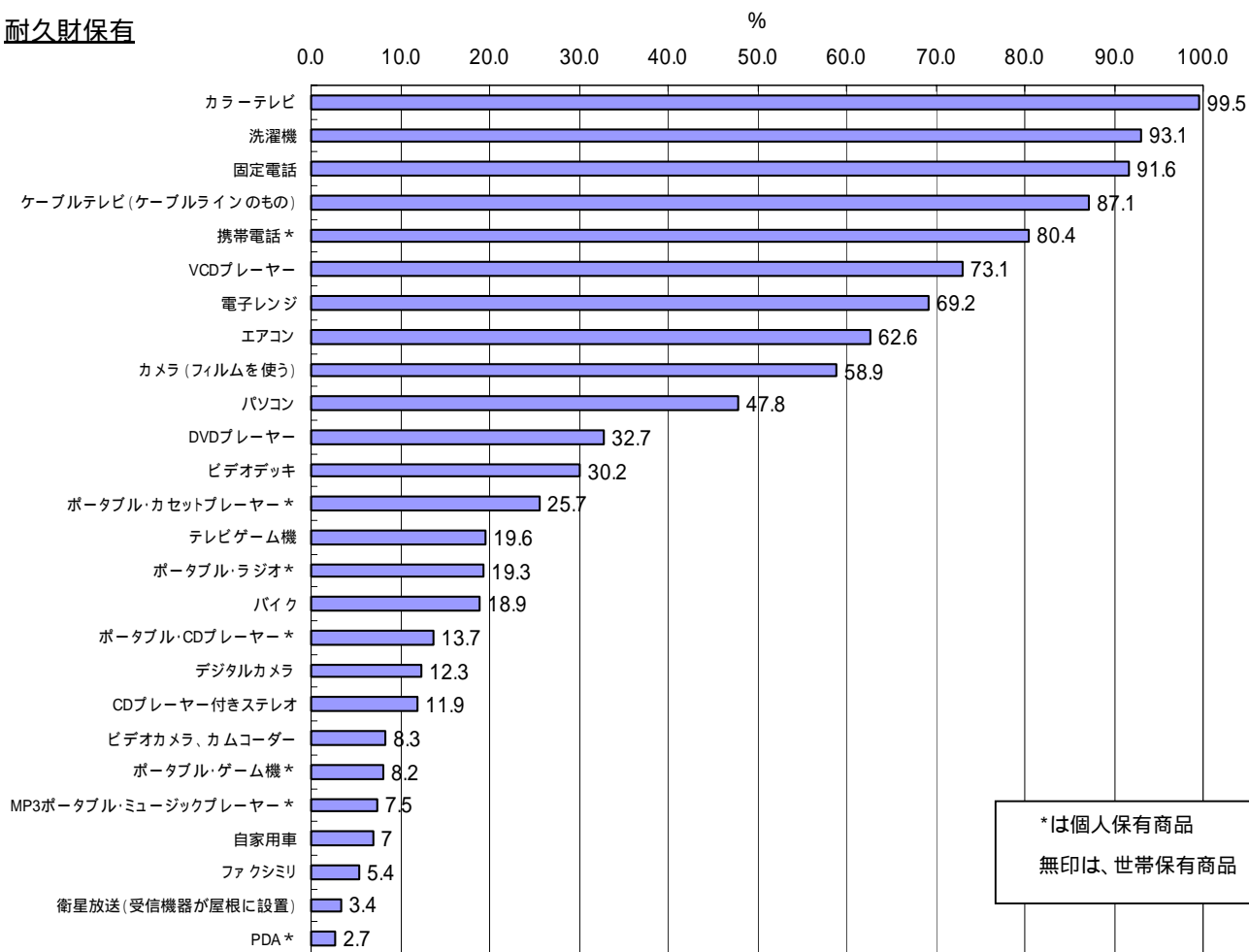
環境問題は、自分の周りでこれから重要になっていくと思う



カラーテレビ・洗濯機・固定電話は保有率が9割以上、ケーブルTV・携帯電話の保有率も8割以上。

耐久消費財の保有率を見てみると、カラーテレビ・洗濯機・固定電話は保有率が9割を超えています。ケーブルTV・携帯電話の保有率も既に8割を超えています。

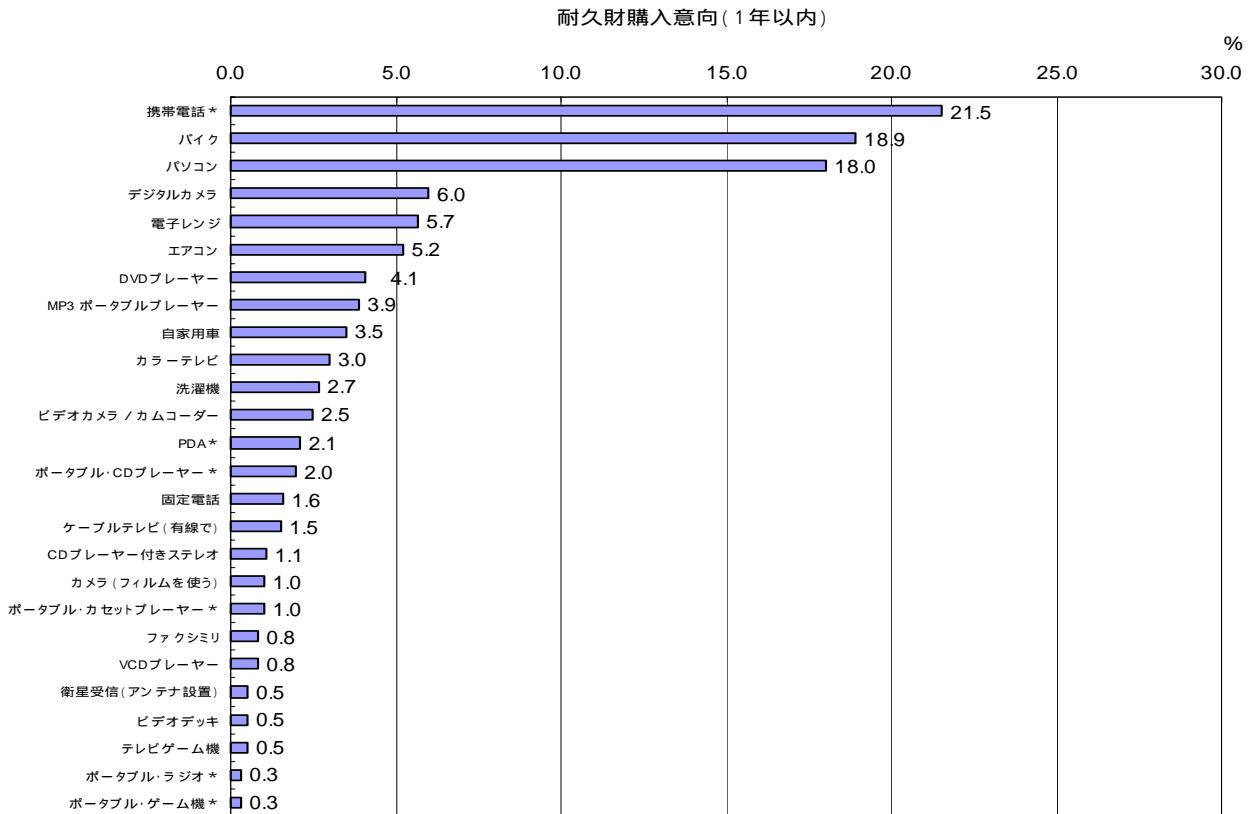
耐久財保有



*は個人保有商品
無印は、世帯保有商品

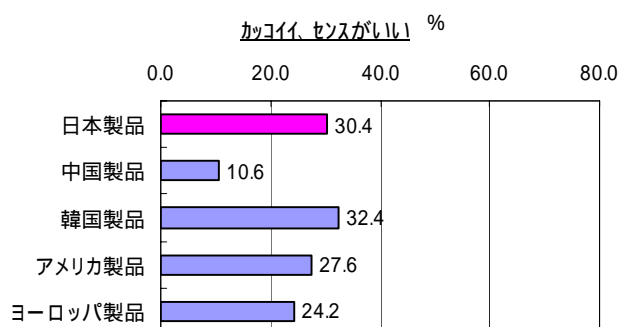
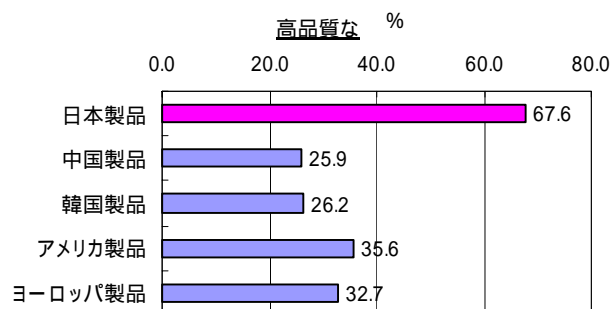
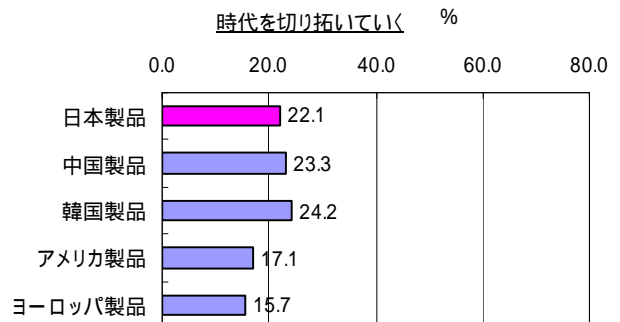
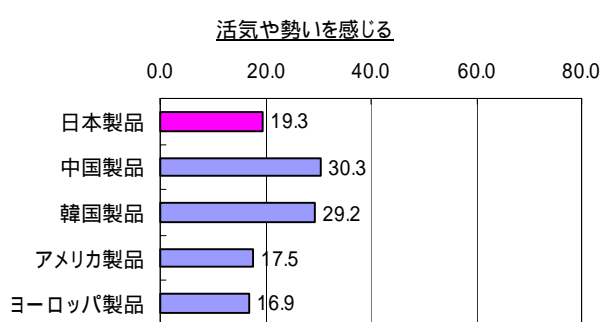
これから1年以内に購入したい耐久財のトップは携帯電話

これから1年以内に購入したい耐久財のトップは携帯電話で、バイクとパソコンも2割近くの人が購入意向があると答えています。



日本製品は「高品質」イメージはトップだが、「カッコイイ」は韓国製品を下回り、「活気がある」「時代を切り開く」では、韓国・中国製品を下回る

日本製品は「高品質」イメージではトップですが、「カッコイイ、センスがいい」ではわずかではあるものの、韓国製品を下回りました。そして、「時代を切り拓いていく」「活気や勢いを感じる」では韓国製品、中国製品両方を下回っています。

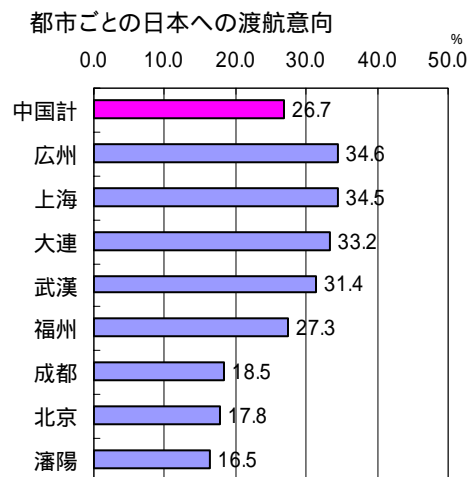
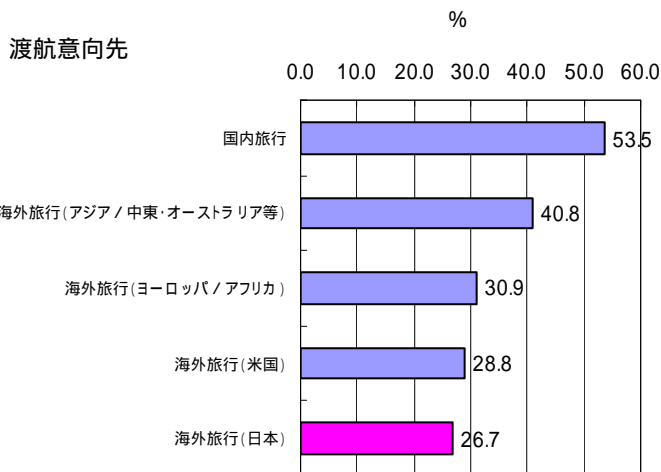
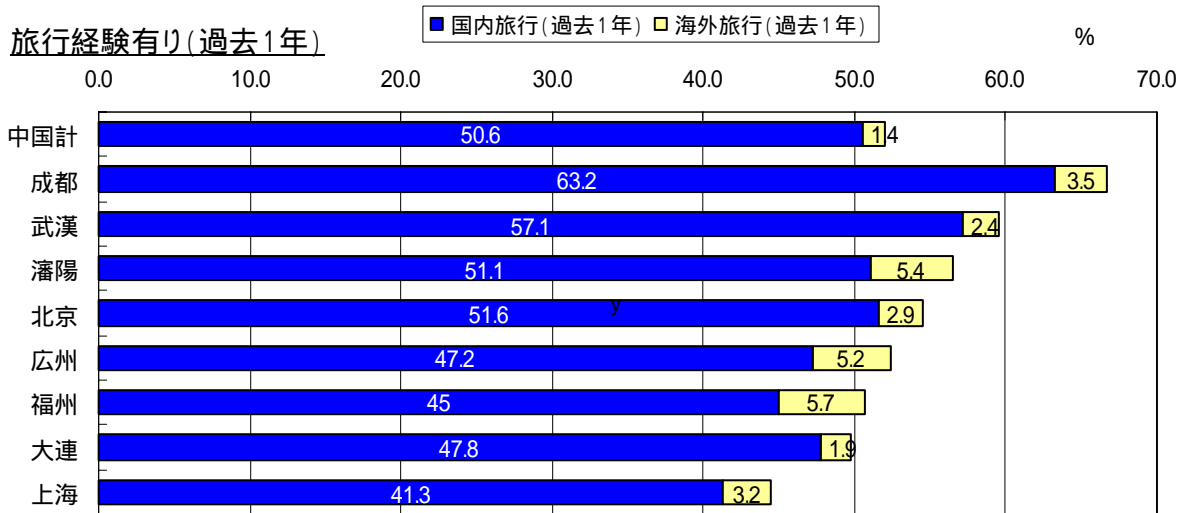


5割近くが1年以内に旅行経験あり。ただし、ほとんどが国内旅行。行きたい渡航先は国内が5割以上、日本も3割弱。

過去1年の旅行経験では、成都の65%がトップ、最も低い上海でも4割以上が旅行をしています。ただ、ほとんどが国内旅行で、海外旅行はまだわずかです。

これから行きたい渡航先は、国内旅行が5割以上、海外では「アジア/中東・オーストラリア等」が4割と続き、日本も3割弱となっています。

将来日本に行きたいと答えた人は広州で最も多く、わずかの差で上海が続きます。



本件に関するお問い合わせ

博報堂	広報室	宮川	Tel:03-5446-6161
	研究開発局	小野寺・室川・大橋	Tel:03-5446-6153